

# 福田市長さん！ぜん息患者をいじめないで

**福田市長さん！患者の声を聞いて**

福田市長は、「成人ぜん息患者医療費助成条例」（八八七九人）、  
「小児ぜん息患者医療費支給条例」（三四八八人）のいのち綱である  
制度を廃止しようとしています。

麻生区に住む患者は「命の問題に直結する。心配だし、制度の  
廃止には反対」、制度が廃止されれば「**受診  
を控える患者も増える**」「ひとつひとつの病  
気に向き合う市政であってほしい」と訴えて  
います。

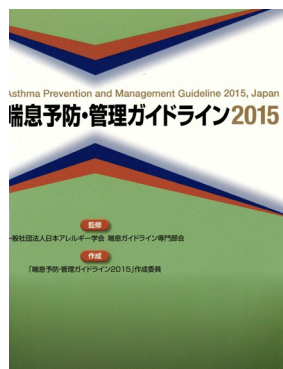
ぜん息は命にかかわる大変危険な病気と言  
われています。いのちを守るためにも制度  
の存続が必要なのです。



**重い発作で、病院に着く前に死亡！**

厚生労働省は、喘息の重い発作によって患者が病院に到着する  
前に死亡してしまうケースを社会問題として捉え、「喘息死ゼロ作  
戦」をおこない、特別の体制をつくりいまでも継続しています。

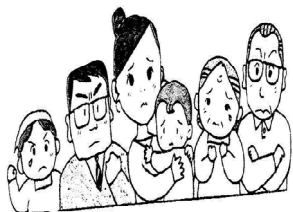
その成果として「喘息予防・管理ガイドライン」を作成しまし  
た。ガイドラインには「理想的には  
無症状を完全なコントロール状態と  
し現在の症状や薬の副作用がなく健  
常人と同様の日常生活を送ること」  
「将来にわたり呼吸機能を維持して  
増悪や喘息死を回避すること」を強  
調しています。



**持病を持つ患者を切り捨てないで！**

福田市長は厚生労働省も特別の体制を取り喘息患者の対応を  
重視しているのに、なぜ患者を切り捨てる方向を打ち出したの  
でしょうか。コロナ感染の勢いが収まることなく、特に死亡者  
が増え続け、その犠牲になっているのは高齢者  
と持病を抱える患者です。

コロナは肺を病む病気です。肺の病気で  
ある気管支ぜん息患者は特に注意が必要で  
す。あえて、このような時期にぜん息患者  
のいのち綱を切らなければならぬのでし  
ょうか。いのちを守るはずの自治体が、市  
民の命を削る政策を進めるのはおかしいと  
思います。



2023年1月31日

川崎公害病患者と家族の会、川崎北部のぜん息患者と家族の会、川崎公害根絶・市民連絡会

<連絡先>川崎市川崎区砂子2-8-1-512 ☎044-211-0391 FAX044-233-4689

**\* ぜん息でお悩みの皆さん！川崎市の医療費助成手続きをご存知ですか。**

**詳しくは044-244-7440**